

令和8年度 大学院 保健医療学研究科

修士課程 入学試験Ⅱ期

救急災害医療学コース

専 門 科 目

全選抜共通

受験番号

自身の受験番号を必ず記載してください。

**【注意事項】**

1. 解答は指定された解答用紙に記入してください。
2. 解答用紙には、受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題用紙及び解答用紙は、全て提出してください。

問題.

病院外心停止（OHCA）は救急医療における最も深刻な課題の一つであり、米国で年間約 30 万人、欧州で約 28 万人、日本で約 10 万人が発生している。救急医療体制や蘇生ガイドラインが進歩しても、生存率は依然として低い。

市民による早期の心肺蘇生（CPR）は予後改善に直結するため、その普及は公衆衛生上の重要な課題である。

市民 CPR の普及策として、CPR 訓練（学校教育、VR や短時間コース、オンライン講習など）と、緊急通報時に指令員が電話で指導する DA-CPR（Dispatcher-Assisted CPR：口頭指導）がある。DA-CPR は未経験の市民にも行動を促す点で有効性が報告されている一方、胸骨圧迫の深さ・テンポ・中断時間など質の面で課題があるとされる。また、事前訓練を受けた市民は DA-CPR に依存するより迅速かつ質の高い CPR を行う傾向があり、神経学的予後や生存率も良好であるとの報告がある。

病院外心停止（OHCA）における市民 CPR 普及策としての DA-CPR（口頭指導）と市民 CPR 訓練の意義と課題について、救命効果・CPR の質・市民教育や公衆衛生的視点を踏まえて、あなたの意見を 800 字以内で述べなさい。